

還 曆 頌

阿 部 矢 二

今までもそうでありしがこれよりはもつと氣
ままにながいきをせよ

——從心所欲、——

名のごとく剛こゝろき氣概をもちながら六十になり
て餘ほど和なごみし

妻子孫いといとあつくいつくしみ白髪はおち
つ微笑えみはたえまじ

君と酌む酒のたのしさたえず笑みたえず語ら
い時に歌うとう

君と結ぶ友情のゆえにわれはしも拙き生をあ
りがたしと思う